

南区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称				実施主体				
大学連携・交流事業				南区役所区政企画室				
事業目的		事業内容		活動指標		R6		
「文化と教育の都市(まち)」をめざし、南区における教育ブランドの確立に向け区内大学等との交流・連携により南区の課題解決につながる取組を行う。また、堺市南区政策会議の議論を踏まえた取組を区内教育機関と連携し、南区ブランド戦略を推進する。		【桃山学院教育大学】 大学の専門性を活かした、みなみ・みどりわくわく教室での連携 【帝塚山学院大学】 ・南区の魅力に関するアンケート調査の実施及びアンケート結果をふまえた南区かるたの作成 ・南区ブランド「M&GREENs」認知度アンケート調査の実施及び分析 【南区近隣大学】 スポーツ推進実行委員会主催の緑道ウォーキングへの参画		南区かるた作成に向けた 南区の魅力に関するアンケート調査集約数		575		
				南区ブランド 「M&GREENs」認知度アンケート調査集約数		575		
①妥当性		②協働の視点		③インパクト		④効率性		
◎	南区内及び近隣の大学と連携を行うことにより、地域の魅力向上及び新たな魅力創出、また学生の「ふるさと意識」の醸成につながることから、実施する妥当性は高い。	◎	みなみ・みどりのわくわく教室において、桃山学院教育大学による農作物の種まき体験等のサポート、保護者や保育者を対象としたアンケートの実施及び効果検証を実施いただくなど、大学の専門性を活かし、協働することができた。	○	みなみ緑道ウォーキングでは、近隣大学の学生に出展ブースの運営のほか、南区イメージキャラクター「みみちゃん」の着ぐるみに入り、参加者との交流に従事いただいた。親子連れのみならず、イベント参加者に広く楽しんでいただくことができ好評であった。	◎	みどりのつどい、ふれあいまつり等、地域の方が参加するイベントに帝塚山学院大学の学生と参加し、アンケートを実施することで、大学連携の強みを活かしアンケートを収集・分析することができた。	
⑤自立発展性		総合評価						
○	本事業を通じて、学生の南区の魅力への関心を高め、南区へのふるさと意識を醸成するとともに、大学との連携体制を強化することができた。今後も学生の視点を取り入れながら協働して事業を推進していく。	◎	南区ブランド「M&GREENs」認知度アンケートを実施することで、南区ブランド戦略推進におけるデータを得ることができたほか、地域の方が南区ブランドに触れる機会にもつながり、南区ブランド周知に貢献することができた。 また南区近隣大学の学生に緑道ウォーキングに参画いただき、出展ブースの運営等に携わっていただくことで、幅広い参加者と交流することができ、南区の課題の一つである世代・地域間での交流の希薄化の解決に貢献することができた。					
今後の方向性(課題、改善提案等)								
拡充 継続 見直し 廃止	南区内及び近隣の大学と交流・連携することで、「文化と教育の都市(まち)」を目指した南区における教育ブランドの確立、学生の南区への「ふるさと意識」の醸成、及び世代や地域を超えた人の繋がりへの促進が期待できることから、今後も本事業を継続して実施し、連携を強化していく。							